



取り付けていますか？ 住宅用火災警報器

全ての**寝室**と**階段**（2階に寝室がある場合）に必要です。
正しい場所に設置されているか確認してください。

救急隊はこのリストの中から最も搬送時間の短い、対応できる救急指定病院（ドクターヘリも考慮）への搬送が基本となります。よって、傷病者本人や関係者の希望する病院への搬送ができないのが原則です。
救急車は住民皆さまのもので、その利用には限りがあります。少しでも早く次の救急に備えなければいけないことをご理解いただき、適正利用についてもご協力をお願いします。

他県で救急車のたらい回し搬送が発生したことを受け、消防法が改正され、和歌山県では、地域（消防本部）ごとに、傷病者の容態・診療科目により、救急隊が受け入れ照会を行う病院のリストが設けられています。

「救急車」呼んだらどこの病院に搬送されるの？

消防だより

今年の出動など(累計)

有田川町消防本部	52・5950	火災	9件
吉備金屋消防署	52・5950	救急	1188件
清水消防署	25・1243	救助	14件
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター)	073・426・1199	（平成30年10月31日現在）	

お餅による窒息事故にご注意ください

お正月に欠かせないお餅。毎年、お餅が原因で、高齢者の窒息事故が各地で発生します。

窒息事故を防ぐには

・小さく切って食べやすくする。



背部叩打法

手の付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたく。

腹部突き上げ法



小児に対する腹部突き上げ法

片手の握りこぶしをへそより上、みぞおちの下に当て、他の手で包むように握り、素早く上方に向かって圧迫しながら突き上げる。

・ ゆっくりとよくかむ。
・ 食事の際には水分（お茶や水など）で、喉を湿らせる。
・ 食事中は歩き回らない、寝転ばない。
・ もし食事中などに、喉に手を当てて苦しんだり、顔色が急激に悪くなったたりするなどの症状が見られた場合は、窒息している恐れがあります。そんな場合は、腹部突き上げ法や背部叩打法を実施しましょう。
これらの処置を実施している際に、ぐったりして返事がない場合は、直ちに救急車を要請し、心配蘇生法を実施しましょう。

暖房器具による火災にご注意ください

暖房器具による火災の多くは、使用者の誤使用・不注意が原因です。使用する場合は、次のことを守ってください。

●ストーブ

・ 給油は火を消してから行い、給油後はカートリッジタンクのふたを完全に閉める。
・ 近くで洗濯物を乾かささない。

また、燃えやすいものを周囲に置かない。
・ ガソリンは絶対に使用しない。
・ 就寝時や外出時は確実に消し、コンセントを抜く。

・ スプレー缶やカセットボンベを、ストーブのそばに置かない。

●電気こたつ
・ 中で衣類を乾かささない。
・ 電源コードを折り曲げたり、ねじったり、下敷きになつたりした状態で使用しない。

有田川町消防団 出初式のご案内

- 日時／平成31年1月10日（木）9時～
- 場所／明恵の里スポーツ公園
- ※雨天時は金屋文化保健センター

